

# 『家族は一体』『おとうさんたちを 全面支援します』

## 2.18 成田支部で家族組合総会開かる

### 『日刊動労千葉』を軸に活発な討論

2月18日、成田支部家族組合の総会が南かれました。地本から南川委員長、成田支部からは日暮支部長をはじめ、中島・大須賀・平野の各執行委員が出席しました。

日暮支部長あいさつ  
「すでに成田支部は一致団結して地本方針を支持し、闘いぬいでゆく決意を固めている。これは避けては通れない決戦だと思う。御主人との対話を一層深めて、一人一人がキッパリとした態度を堅持して欲しい。」

南川委員長からは、この日全員に配られた『日刊動労千葉』号外・家庭版を参考にしながら組合員・家族の一体となった闘いの重要性が話されました。

『おとうさんやっっている事は正しい』  
『理屈にあやない』『再登録』など許さない

主な討論の中で  
● 全国・関東大会等の会議の報告・感想。  
● (全支部での)家族組合活動の再建が必要。  
● 今回の総会にむけて家庭郵送した往復ハガキに家族組合活動への感謝の文章や積極的意見も寄せられ、良かった。等々が出されました。  
予算・決算を一部修正で決定したのち

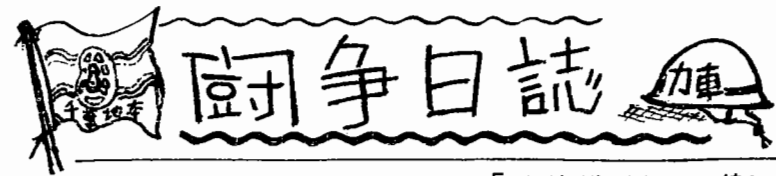
役員の変更をおこない、新たに高木利子さんを会長に、若さと行動力の新体制が発足しました。



### 南川会長の八年の労をねぎらい、 高木新会長にバトンタッチ

八年の永きにわたり会を支えた南川会長が、辞任にあたり、『家族は一体です。主人の苦闘は、私たちが主婦の苦闘です。……家族の横のつながりを密にして、家庭にまで喰い込んでくる。再登録攻撃を主婦の力で阻止しましょう。』と訴え、盛大なねぎらいの拍手をうけました。このあと、三里塚斗争・動労千葉支援をうけ、和気あいあいの懇談会で二層の決意を固め、い拍子とガバローで閉会しました。

**新役員**  
会長……高木利子さん  
副会長……鈴木善枝さん  
事務長……日暮良枝さん  
大須賀シズ子さん  
高木新会長の決意  
皆んなの力を合わせ、おとうさんたちを支援していきましょう。私は新会長として、いっから学び、併せて全力でがんばります。もう一つの心をお贈りします。



78・7・3～7	第34回全国大会	「三里塚反対同盟と一線を画す」方針を3分の1以上の反対を暴力的に圧して強行。
11・15～17	第101回中央委員会	千葉地本三役・地青三役に対する査問委員会設置を強行。
年末～年始 (本部)	第34回全国青年部長会議	革マルと一部反動分子は、組合運営ルールを完全無視して千葉地本排除一破壊攻撃を一段と強める。
年末～年始 (千葉地本)	年末・年始を返上して	地本・支部の防衛体制が進む。
79・1・16	地本団結廣開き	組合員、家族、反対同盟など1300名が参加し、盛大に開催。
1月下旬	家族会	成田、天台、勝浦地区などで家族会の活動が活発に行なわれる。
1・30～31	だましうち的な本部の“よび出し”交流が失敗	千葉地本から本部に対し、5項目の解明要求を提出。本部側は、今日にいたるも完全沈黙のまま……
2・10	第32回臨時地本大会	4つの闘う方針を打ち出し、動労の大改革運動を全国に訴える。
2・14	電話連絡第362号	千葉地本と支部を事実上凍結。本部が「直接、千葉の全組合員を指導」と称しビラ・通達等を家庭郵送にすると通告。

※ 地本と支部を通さず、家庭に送られてきた中傷ビラ、「指示」などについては、御主人を通じて、支部にお届け下さい。

※ 地本・支部を無視した電話・家庭訪問についても、同様「関係ない」「支部に連絡しろ」と応対して下さい。